

UBE

Vol.9



技術の翼と革新の心。

Wings of technology
and spirit of innovation.

株主通信

2010年4月1日～2011年3月31日

株主の皆様へ

東日本大震災により被災されました方々や企業の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当期の経済情勢は、アジアでは夏場以降やや減速したものの、中国をはじめとして景気拡大が継続し、欧米でも失業率が高止まりながらも景気は持ち直すなど、世界経済は総じて緩やかな回復基調で推移しました。

一方、国内経済は輸出の持ち直しや企業収益の改善など景気回復の動きは見られたものの、デフレ状態が継続するなか雇用情勢は依然厳しく、急激な為替変動の影響もあり、不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは当期を初年度とする三カ年の中期経営計画「ステージアップ 2012 -新たな挑戦-」の基本方針「持続的成長を可能にする収益基盤の確立」「財務構造改革の継続」「地球環境問題への対応と貢献」に基づき、経営目標の早期達成に向けて業績の向上に取り組んでまいりました。この結果、当期の連結業績は増収増益となりました。

なお、東日本大震災による当期業績への影響は、比較的軽微でした。

この業績を踏まえ、当期の期末配当は1株につき5円(前期は1株につき4円)とさせていただきます。

当社グループは、東日本大震災の業績へのマイナス影響を最小限に抑えながら、企業として社会に果たすべき役割を改めて考え、事業活動やリスク管理のあり方を見直していくとともに、引き続き「ステージアップ 2012 -新たな挑戦-」の基本方針に基づき、グループの総力を結集して目標達成に向けて取り組み、株主や資本市場をはじめ、取引先・従業員・地域社会等、すべてのステークホルダーからの信認をさらに深めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 竹下道夫

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結業績ハイライト	2
部門別概況(連結)	3
中期経営計画「ステージアップ 2012 -新たな挑戦-」	4
トピックス	5
決算の概況(連結)	7
決算の概況(単独)	9
会社情報	9
株式情報	10

マネジメント・チーム (2011年3月31日現在)

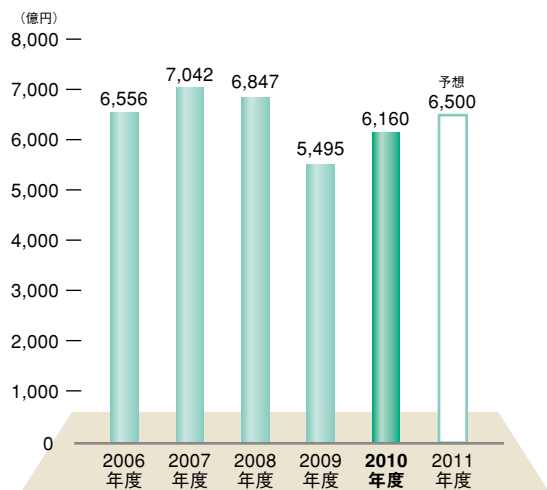


後列左から：糸口栄一執行役員、妙中信之常務執行役員、渡邊史信常務執行役員、松本善臣取締役*、梅津誠取締役、関谷一真専務執行役員、山本謙専務執行役員
前列左から：高橋信行専務執行役員、岡田和彦代表取締役、田村浩章取締役会長、竹下道夫代表取締役社長、古川陽道取締役、元田充隆取締役*

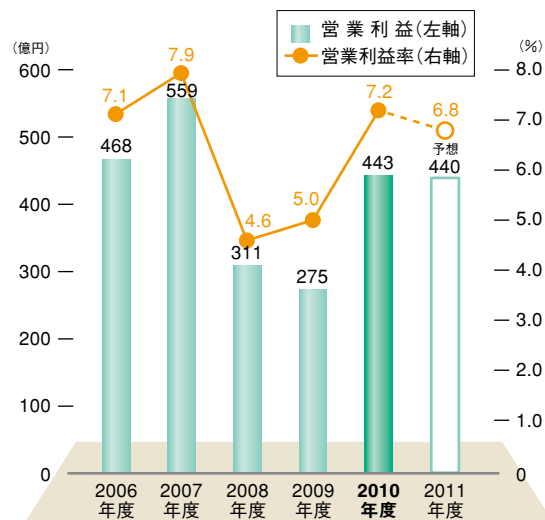
*社外取締役

連結業績ハイライト

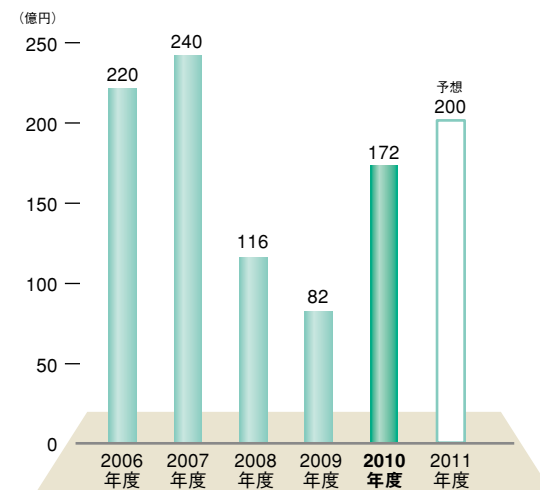
売上高



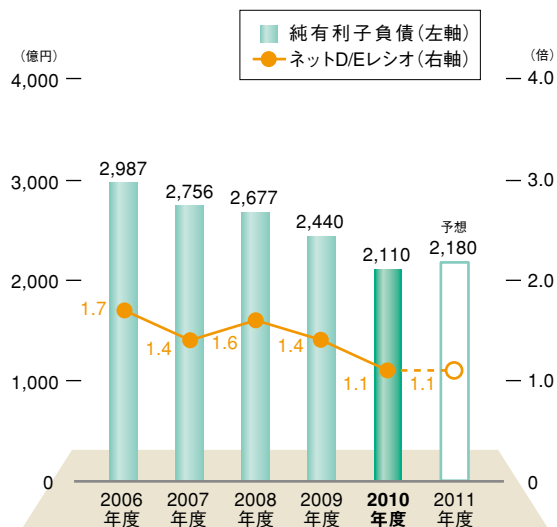
営業利益と売上高営業利益率



当期純利益

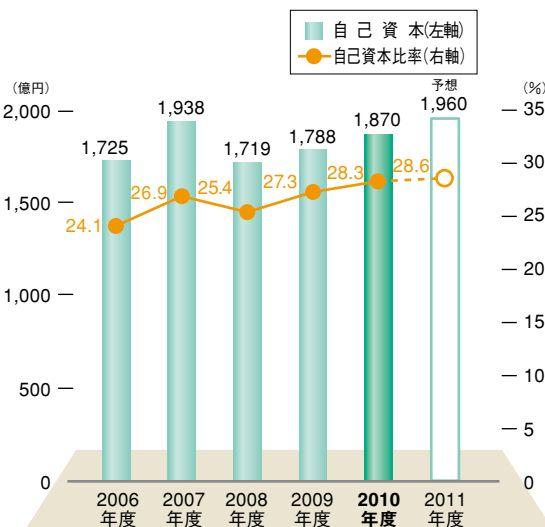


純有利子負債とネットD/Eレシオ*



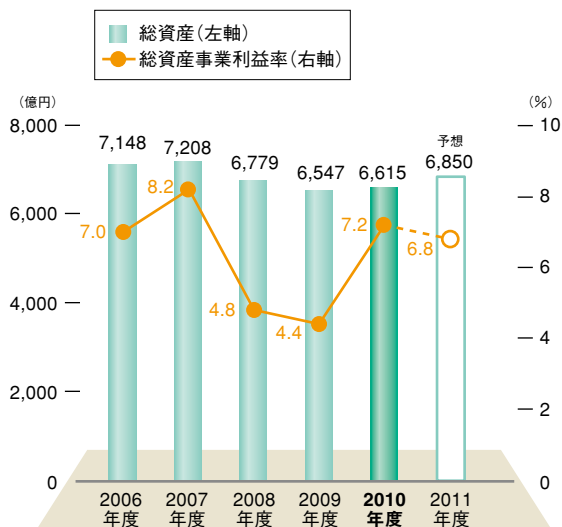
* ネットD/Eレシオ =
純有利子負債 (= 有利子負債 - 現金・現金同等物) / 自己資本

自己資本と自己資本比率*













* 自己資本比率 =
自己資本 (= 純資産 - 新株予約権 - 少数株主持分) / 総資産



総資産と総資産事業利益率(ROA)*



* 総資産事業利益率(ROA) =
事業利益 (= 営業利益 + 受取利息・受取配当金 + 持分法投資損益) / 総資産

部門別概況(連結)

部門	主要商品	売上高比率	部門別概況
化成品・樹脂 売上高 2,045億円 (前期比23.9%増) 営業利益 200億円 (前期比321.7%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 合成ゴム ● カプロラクタムチェーン ● カプロラクタム ● ナイロン樹脂 ● 工業薬品 	 <p>33%</p>	<p>旺盛な需要に支えられ、カプロラクタム、工業薬品の出荷は好調で、ポリブタジエン(合成ゴム)、ナイロン樹脂の出荷も堅調でした。良好な需給環境を反映し、多くの製品で販売価格が上昇し、特に、カプロラクタムのスプレッド(製品と原料の値差)は、前期に比べ大幅に拡大しました。</p>
機能品・ファイン 売上高 687億円 (前期比13.9%増) 営業利益 87億円 (前期比164.6%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 機能性材料 ● ポリイミド ● 電池材料(電解液、セパレーター) ● 半導体関連・電子材料 (高純度化学薬品、光通信関連) ● ガス分離膜 ● セラミックス ● 通信部品 ● ファインケミカル 	 <p>11%</p>	<p>リチウムイオン電池用セパレーター、LED・半導体向け高純度化学薬品、セラミックス、ファインケミカル製品の出荷は好調で、リチウムイオン電池用電解液の出荷は堅調でした。ポリイミド製品の出荷は薄型テレビ向けフィルムを中心に伸長し、ガス分離膜の出荷も回復に転じ、前期を上回りました。</p>
医薬 売上高 88億円 (前期比11.4%減) 営業利益 23億円 (前期比37.9%減)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 医薬品(原体、中間体) 	 <p>1%</p>	<p>抗アレルギー剤や血圧降下剤の原体出荷は伸長しましたが、受託医薬品を中心として、その他の原体・中間体の出荷は前期を下回りました。</p>
建設資材 売上高 2,004億円 (前期比6.4%増) 営業利益 80億円 (前期比31.1%増)	 <ul style="list-style-type: none"> ● セメント・生コン ● 資源リサイクル ● 石灰石 ● 建材関連製品 (セルフレベリング材、左官材、防水材) ● カルシア・マグネシア ● 機能性無機材料 	 <p>33%</p>	<p>セメント・生コン、建材製品の出荷は、マンション・住宅着工や企業の設備投資の持ち直しにより下げ止まってきたものの、低水準で推移しました。これに対応するため、一層のコストダウンに取り組み、各種廃棄物の原燃料へのリサイクル利用も拡大しました。カルシア、マグネシア製品の出荷は鉄鋼関連向けを中心に好調でした。</p>
機械・金属成形 売上高 834億円 (前期比2.1%増) 営業利益 17億円 (前期比60.5%減)	 <ul style="list-style-type: none"> ● 機械 ● 成形機 (ダイカストマシン、射出成形機) ● 産機(運搬機、ミル、破碎機) ● 橋梁・鉄構 ● 製鋼品 ● アルミホイール 	 <p>14%</p>	<p>機械事業は、自動車産業向けを中心とする成形機の出荷は低水準ながら回復基調にある一方、産業機械の出荷は堅型ミルや運搬機等では引き続き堅調でしたが全体としては減少に転じました。受注については、円高と国内外メーカーとの価格競争の激化により、製鋼品を含め各製品とも厳しい状況で推移しました。アルミホイール事業は、出荷が前期並みにとどまり、損失が継続しました。</p>

部門	主要商品	売上高比率	部門別概況
エネルギー・環境 売上高 591 億円 (前期比9.2%増) 営業利益 40 億円 (前期比6.5%減)	 <ul style="list-style-type: none"> ●石炭 ●電力 	 10%	販売炭の出荷は、主要顧客である化学、製紙会社向けを中心に堅調で、コールセンター(石炭貯蔵場)の預り炭数量においても電力会社向けを中心に好調でした。電力卸供給事業は、売電価格の変動もあり収益性が低下しました。

中期経営計画「ステージアップ 2012 - 新たなる挑戦 -」

2010年度から2012年度を対象期間とする中期経営計画「ステージアップ 2012」の初年度は順調に進捗し、最終年度目標に一步、近づきました。

3つの「新たなる挑戦」

(1) 成長への挑戦

医薬、電池材料、ファインケミカル、ポリイミドチェーンの4事業を牽引役として、UBEグループを再び成長軌道へ乗せる

(2) パラダイムシフトへの挑戦

「新興国」と「環境」を強く意識し、経営を取り巻く枠組みの大きな変化に積極的に対処する

(3) 前中期経営計画数値目標への再度の挑戦

未達に終わった前中期経営計画の数値目標に再挑戦し、営業利益目標530億円、ネットD/Eレシオ1倍未満を早期に実現する

「ステージアップ 2012」2年目の取組み

東日本大震災の復興需要への対応など、企業としての社会的責任を果たしながら、「ステージアップ 2012」の基本方針に沿って新興国や環境への取組みをスピード感をもって推し進め、2012年度の中計目標の早期達成を目指してまいります。

数値目標・ターゲット指標

経営指標		2009年度実績	2010年度実績	2012年度中計目標	2015年度ターゲット指標
財務指標	ネットD/Eレシオ	1.4倍	1.1倍	1.0倍未満	-
	自己資本比率	27.3%	28.3%	30%以上	-
収益指標	売上高営業利益率	5.0%	7.2%	7.5%以上	8.0%以上
	総資産事業利益率(ROA)	4.4%	7.2%	7.5%以上	8.0%以上
	自己資本当期純利益率(ROE)*	4.7%	9.4%	12%以上	-

* 自己資本当期純利益率(ROE) = 当期純利益 / 自己資本

損益計算書・貸借対照表の主要項目	2009年度実績	2010年度実績	2012年度中計目標	2015年度ターゲット指標
売上高	5,495億円	6,160億円	6,700億円以上	-
営業利益	275億円	443億円	530億円以上	700億円以上
事業利益	293億円	470億円	550億円以上	-
純有利子負債	2,440億円	2,110億円	2,200億円未満	-
自己資本	1,788億円	1,870億円	2,250億円以上	-

2010年度トピックス一覧

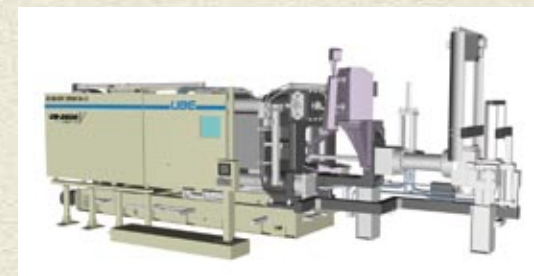
- 2010年 4月 自社医薬品「カルブロック」と第一三共(株)「オルメテック」を配合した高血圧症治療薬「レザルトス配合錠」を同社が発売
- 5月 新中期経営計画「ステージアップ 2012 -新たななる挑戦-」を発表
- 7月 ブラジルに現地法人を設立
- 7月 合成ゴムの製造設備増強を決定
- 9月 タイ国でカプロラクタムチェーン強化を発表
- 10月 **スライドリングマテリアル*1**の事業化促進のためアドバンスト・ソフトマテリアルズ(株)と包括提携に合意
- 11月 環境負荷の低減と高機能をより使い易いかたちで実現した新大型ダイカストマシン「UB-iVシリーズ」を発売 **Topics 1**
- 12月 パームカーネルシェル混合燃焼の実証試験を本格化 **Topics 2**
- 12月 タイ国でイノベーションセンターを開設
- 2011年 1月 日立マクセル(株)とリチウムイオン電池用塗布型セパレーターの合併会社を設立 **Topics 3**
- 2月 電池材料事業の営業・開発体制を拡充
- 2月 **有機金属化合物(MO)*2**の第2工場新設を決定
- 2月 **エチレングリコール*3**を製造する技術を中国企業にライセンス供与
- 3月 「環境にやさしい香料の新製法の開発」がグリーン・サステイナブル ケミストリー賞を受賞 **Topics 4**
- 3月 アルミホイール事業の撤退を決定
- 3月 韓国に現地法人を設立
- 3月 窒化珪素の製造設備増強に着手 **Topics 5**

Topics 1

機械・金属成形

新大型ダイカストマシン「UB-iVシリーズ」を発売

UBEグループの宇部興産機械(株)は、新大型ダイカストマシン：UB-iVシリーズを開発し、販売を開始しました。本製品は環境負荷低減技術などの各種新技術を採用し、高機能をより使い易い形で実現した世界標準機です。この新シリーズ機の投入と海外サービス拠点の拡充により、機械事業の基盤強化を図ってまいります。



大型ダイカストマシン「UB-iVシリーズ」

Topics 2

エネルギー・環境

パームカーネルシェル混合燃焼の実証試験を本格化

当社は、地球温暖化防止策のひとつとして微粉炭火力自家発電所でパームカーネルシェル(PKS)を石炭と混焼させる実証試験を開始しました。PKSはパーム椰子の種から核油を搾取した後の殻で、粉砕が困難なため微粉炭火力での混焼に不向きと考えられていますが、当社は石炭との混焼が可能となる技術を開発しました。



PKSの荷役作業



*1 **スライドリングマテリアル** 日常生活で使用されているゴム製品やプラスチック製品は、鎖状の高分子で組成され、高分子同士は化学的に結合しています。スライドリングマテリアルは、この結合点が固定されずスライドする構造になっており、高伸縮性が大きな特徴です。

Topics 3

機能品・ファイン

日立マクセル(株)とリチウムイオン電池用塗布型セパレーターの 合併会社を設立



宇部マクセル(株)の設立共同会見

当社は日立マクセル(株)とリチウムイオン電池用塗布型セパレーターの製造販売を行う合併会社「宇部マクセル(株)」を設立しました。セパレーターは自動車用途や産業用途に需要拡大が期待されるリチウムイオン電池の主要部材の一つです。当社の競争力の高いセパレーターに、日立マクセルが持つ分散塗布技術を組み合わせた塗布型セパレーターは、リチウムイオン電池の安全性を大幅に向上させることができます。

Topics 4

機能品・ファイン

第10回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞を受賞



マリン系香料「ヘリオフレッシュ」®

当社が開発し、製造販売するマリン系香料「ヘリオフレッシュ」の開発が、第10回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞を受賞いたしました。香水や化粧品・シャンプーなどで幅広く使用されるこの香料は従来、クスノキ科のサッサfrasから採取される油を原料にしていたことが、当社が完全合成による製法を開発したことが、森林破壊を防ぎ、環境保護に貢献していると高く評価されたものです。

*2 有機金属化合物(MO) 有機金属化合物(MO)は、金属と炭素が結合した化合物で、LEDやレーザーダイオードの製造プロセスで使用されます。LEDの普及で有機金属化合物の需要が急拡大しています。

Topics 5

機能品・ファイン

窒化珪素の製造設備増強に着手



窒化珪素の用途例

当社は太陽電池用途を中心に需要が拡大している窒化珪素製造設備の増強に着手しました。窒化珪素は、耐熱性や靱性など優れた機械特性をもつセラミックスで、ディーゼルエンジンのグロープラグやベアリングボール、LEDなどにも幅広く使用されており、大幅に需要が増加すると見込まれています。

東日本大震災に対する当社の取り組み状況

UBEグループでは、今後発生が予想される首都直下型地震や東南海・南海地震に備えて「BCP」(事業継続計画)を策定し、災害発生時の緊急対応やその後の事業継続に必要な準備を行っています。

東日本大震災発生時には、「BCP」に基づき災害対策本部を直ちに立ち上げ、被災状況の把握、社員・関係者の安否確認、事業所の保全対応等を迅速に行い、早期に事業活動を再開いたしました。

4月6日付で東日本大震災復興対策本部を立ち上げ、供給責任の履行、被災者の支援、夏季の電力不足対策などについて確実に実施していく体制を取っております。

*3 エチレングリコール エチレングリコールは、PET(ポリエチレンテレフタレート)などポリエステル原料として使用されず。アジアでは、中国を中心に衣料やペットボトル用にエチレングリコールの需要が増加しています。

決算の概況(連結)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

主な科目	前期 (2010年3月31日現在)	当期 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	261,587	281,701
現金及び預金	37,511	49,711
受取手形及び売掛金	133,522	134,914
たな卸資産	69,704	73,247
その他	20,850	23,829
固定資産	393,171	379,793
有形固定資産	324,732	313,945
無形固定資産	4,213	4,988
投資その他の資産	64,226	60,860
繰延資産	35	18
資産合計 	654,793	661,512

主な科目	前期 (2010年3月31日現在)	当期 (2011年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	246,473	249,701
支払手形及び買掛金	78,983	89,135
短期借入金	111,555	96,859
コマーシャル・ペーパー	—	3,000
1年内償還予定の社債	560	40
その他	55,375	60,667
固定負債	206,130	200,362
社債	15,140	15,100
長期借入金	152,954	144,082
退職給付引当金	7,246	7,026
その他	30,790	34,154
負債合計 	452,603	450,063
純資産の部		
株主資本	187,689	200,920
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	28,445	28,451
利益剰余金	101,579	114,817
自己株式	△770	△783
その他の包括利益累計額	△8,850	△13,906
新株予約権	318	387
少数株主持分	23,033	24,048
純資産合計 	202,190	211,449
負債・純資産合計	654,793	661,512

POINT 1 資産

有形固定資産が107億円減少しましたが、現金及び預金が122億円増加したことなどにより、前期末比67億円(1.0%)増加しました。

POINT 2 負債

支払手形及び買掛金が101億円増加しましたが、有利子負債が207億円減少したことなどにより、前期末比25億円(0.6%)減少しました。

POINT 3 純資産

円高に伴い為替換算調整勘定が47億円減少しましたが、利益剰余金が132億円増加したことなどにより、前期末比92億円(4.6%)増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

主な科目	前期	当期
	(自2009年4月1日 至2010年3月31日)	(自2010年4月1日 至2011年3月31日)
売上高	549,556	616,062
売上原価	448,328	494,046
売上総利益	101,228	122,016
販売費及び一般管理費	73,633	77,653
営業利益	27,595	44,363
営業外収益	6,094	7,085
営業外費用	14,694	12,348
経常利益	18,995	39,100
特別利益	726	2,090
特別損失 POINT 4	4,129	12,443
税金等調整前当期純利益	15,592	28,747
法人税等	6,210	9,839
少数株主損益調整前当期純利益	—	18,908
少数株主利益	1,165	1,641
当期純利益	8,217	17,267

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

主な科目	前期	当期
	(自2009年4月1日 至2010年3月31日)	(自2010年4月1日 至2011年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,107	67,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,928	△28,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,265	△25,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	129	△1,082
現金及び現金同等物の増減額	△1,957	12,241
現金及び現金同等物の期首残高	39,131	37,281
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	107	—
現金及び現金同等物の期末残高	37,281	49,522

POINT 4 特別損失

アルミホイール事業からの撤退に伴う損失91億円などを計上しました。

連結株主資本等変動計算書 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括 利益累計額	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計				
前期末残高	58,435	28,445	101,579	△770	187,689	△8,850	318	23,033	202,190
当期変動額									
剰余金の配当			△4,029		△4,029				△4,029
当期純利益			17,267		17,267				17,267
自己株式の取得				△24	△24				△24
自己株式の処分		6		11	17				17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△5,056	69	1,015	△3,972
当期変動額合計	—	6	13,238	△13	13,231	△5,056	69	1,015	9,259
当期末残高	58,435	28,451	114,817	△783	200,920	△13,906	387	24,048	211,449

決算の概況(単独)

会社情報 (2011年3月31日現在)

貸借対照表

(単位:百万円)

主な科目	前期 (2010年3月31日現在)	当期 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	129,047	144,848
現金及び預金	20,998	26,021
受取手形及び売掛金	59,174	65,314
たな卸資産	27,413	30,890
その他	21,460	22,621
固定資産	317,581	308,555
有形固定資産	190,138	188,378
無形固定資産	2,740	2,581
投資その他の資産	124,702	117,595
繰延資産	34	18
資産合計	446,663	453,422
負債の部		
流動負債	163,820	171,044
支払手形及び買掛金	35,884	42,144
短期借入金	81,500	70,349
コマーシャル・ペーパー	—	2,999
その他	46,435	55,551
固定負債	159,520	158,021
社債	15,000	15,000
長期借入金	138,597	129,197
その他	5,923	13,823
負債合計	323,340	329,066
純資産の部		
株主資本	121,815	123,068
資本金	58,434	58,434
資本剰余金	29,224	29,224
利益剰余金	34,734	36,008
自己株式	△578	△599
評価・換算差額等	1,188	900
新株予約権	318	386
純資産合計	123,322	124,355
負債・純資産合計	446,663	453,422

損益計算書

(単位:百万円)

主な科目	前期 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)	当期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)
売上高	254,801	295,080
売上原価	211,062	232,134
売上総利益	43,738	62,946
販売費及び一般管理費	36,647	38,659
営業利益	7,091	24,286
営業外収益	8,994	6,312
営業外費用	11,622	9,822
経常利益	4,463	20,775
特別利益	316	2,742
特別損失	4,655	15,763
税引前当期純利益	124	7,754
法人税等	△1,393	2,450
当期純利益	1,517	5,303

会社概要

設立	1942(昭和17)年3月
資本金	58,434百万円
従業員数	3,727人(連結 11,026人)
連結対象会社	90社 (連結子会社 66社、持分法適用会社 24社)
ホームページアドレス	http://www.ube.co.jp

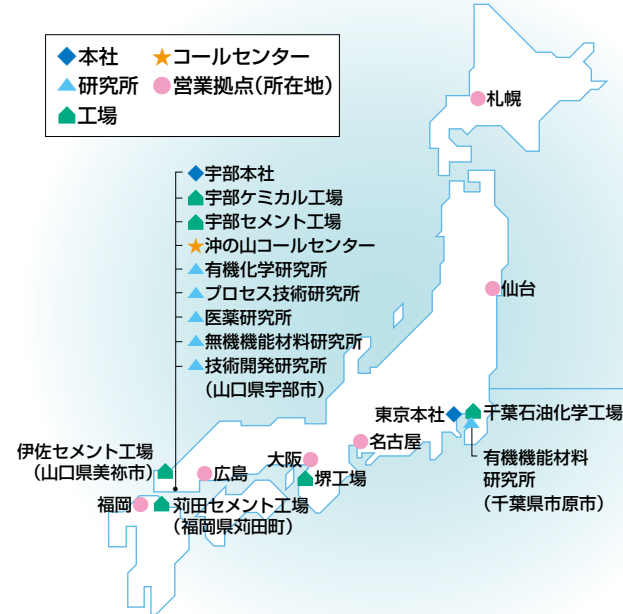
役員

(注) *は取締役との兼務を示しています。

取締役会長	田村 浩章	社長執行役員*	竹下 道夫
代表取締役社長	竹下 道夫	副社長執行役員*	岡田 和彦
代表取締役	岡田 和彦	専務執行役員	高橋 信行
取締役	古川 陽道	専務執行役員*	古川 陽道
取締役	梅津 誠	専務執行役員	関谷 一眞
社外取締役	松本 善臣	専務執行役員	山本 謙
社外取締役	元田 充隆	常務執行役員	チャルアピットケン
		常務執行役員*	梅津 誠
常任監査役(常勤)	櫻部 正樹	常務執行役員	杉下 秀幸
常任監査役(常勤)	山中 和郎	常務執行役員	渡邊 史信
常任監査役(常勤)	藤岡 啓介	常務執行役員	妙中 信之
監査役	藤田 光博	執行役員	久保田 隆昌
		執行役員	杉瀬 良二
		執行役員	六角 朋生
		執行役員	松波 正
		執行役員	大原 真二
		執行役員	上田 淳
		執行役員	木内 政行
		執行役員	糸口 栄一
		執行役員	平井 雅典
		執行役員	三隅 淳一
		執行役員	泉原 雅人

主な事業所 (2011年3月31日現在)

国内拠点



部門別主要連結対象会社

化成系・樹脂部門

宇部フィルム(株)
 タイ・シンセティック・
 ラバーズ社(タイ国)
 宇部アンモニア工業(有)
 ウベ・ケミカル・ヨーロッパ社
 (スペイン)
 ウベ・ケミカルズ・アジア社(タイ国)
 ウベ・エンジニアリング・
 プラスチックス社(スペイン)

建設資材部門

宇部興産海運(株)
 大協企業(株)
 萩森興産(株)
 ウベボード(株)
 宇部建設資材販売(株)
 (株)関東宇部ホールディングス
 宇部マテリアルズ(株)
 山石金属(株)
 宇部三菱セメント(株)*

機能系・ファイン部門

宇部日東化成(株)
 明和化成(株)
 ユー・イー・エル(株)
 ウベ・ファイン・ケミカルズ・アジア社
 (タイ国)

機械・金属成形部門

宇部興産機械(株)
 ウベ・マシンリー社(米国)
 宇部テクノエンジ(株)
 (株)宇部スチール
 (株)福島製作所
 宇部興産ホイール(株)

エネルギー・環境部門

宇部シーアンドエー(株)

その他の部門

ウベ・アメリカ社(米国)
 ウベ・コーポレーション・
 ヨーロッパ社(スペイン)
 ウベ・ホンコン社(中国)

*持分法適用会社

海外拠点 (主要な海外子会社の所在地)



株式の状況

発行可能株式総数 3,300,000,000株

発行済株式の総数 1,007,058,544株 (自己株式2,106,462株を除く)

株主数 79,796名

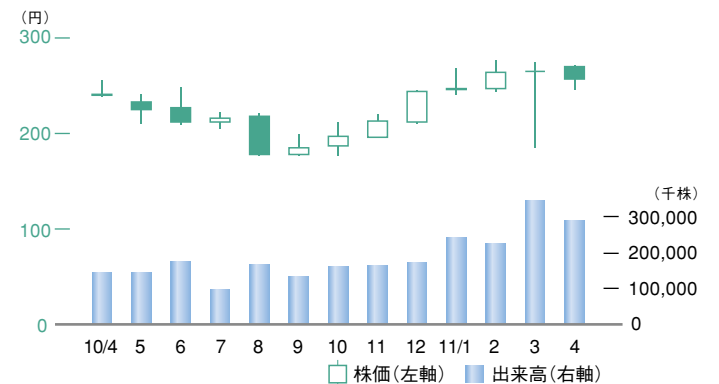
大株主

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	89,387	8.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	66,345	6.59
全国共済農業協同組合連合会	25,360	2.52
日本生命保険相互会社	20,000	1.99
住友生命保険相互会社	20,000	1.99
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	17,131	1.70
ドイツ証券株式会社	15,564	1.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	15,453	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	14,588	1.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,500	1.34

配当金推移

1株当たり 配当金	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
	4.0円	5.0円	4.0円	4.0円	5.0円	5.0円 (期末配当予定)

株価及び出来高 (東京証券取引所)



Information

単元未満株式(当社では1,000株未満の株式)の買取・買増制度について

当社株式の市場取引は1,000株単位となっておりますので、単元未満株式をお持ちの株主様につきましては、端数となっております株式が整理できる買取・買増制度を設けております。証券会社等にお持ちの口座に単元未満株式がございます場合には、お取引証券会社等へお申し出ください。

買取請求とは 株主様がご所有の単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

買増請求とは 株主様がご所有の単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行 証券代行部(電話0120-232-711)へお申し出ください。

UBEグループは「共存同栄」「有限の鉱業から無限の工業へ」という創業の理念を踏まえ、下記のグループビジョンを掲げ、機能性材料や環境負荷の低い製品・技術など、化学を中心とした独自技術で未来の価値を創造していきます。

UBEグループビジョン

技術の翼と革新の心。世界にはばたく私たちのDNAです。

フロンティアスピリットを胸に、無限の技術で世界と共生するUBEグループは、次代の価値を創造し続けます。

宇部興産株式会社 ■東京本社 〒105-8449 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館
■宇部本社 〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おください。



文化庁登録第17298号の1



本書は、FSC™の認証紙を使用し、塩素化合物の排出を最小限に抑えたECF(無塩素漂白)パルプから製造された用紙と、植物油インキを使用しています。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会開催時期 6月下旬
- 基準日
定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 公告の方法 電子公告
<http://www.ube.co.jp>
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同連絡先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)

【株式に関するお手続きについて】

1. 単元未満株式の買取・買増、住所・氏名等のご変更、株式の口座振替請求、配当金受取方法の指定等のお申出先原則、株主様が口座を開設されているお取引証券会社等にて手続きをお取りください。
ただし、証券会社等に口座をお持ちでない株主様につきましては、特別口座を開設して株数が記録されておりますので、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行 証券代行部にて手続きをお取りください。
2. 未払配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問合せ
株主名簿管理人の三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問合せください。